

平成22年度江別市教育行政推進計画

はじめに

平成22年度の教育行政を進めるにあたりまして、江別市教育委員会の基本的な考え方と主要な施策について申し上げます。

近年、社会経済のグローバル化、情報技術革命、地球環境問題、少子高齢化など激しい時代の変化に主体的に対応し、未来を担う人材を育成することが重要と指摘されております。

さらに、雇用・経済情勢の悪化や政権交代に伴う政策転換などにより、教育を取り巻く環境が変化する中で、学習指導要領の改訂など教育改革が進められています。

こうした現状を踏まえて、子どもたちが、知性、感性、道徳心や体力を育て人間性豊かに成長することを願い、「互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある子どもたちを育てること」、「社会の一員として社会に貢献しようとする子どもたちを育てること」、「自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな子どもたちを育てること」がより一層重要になっています。

教育委員会といたしましては、学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じて、あらゆる場で学び、支えあうことができる社会の実現をめざし、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが役割を果たし、社会全体で行わなければならないものであるとの認識のもと、市民が教育に参加する機会の拡充に努めるとともに、地域に開かれた「魅力と活力ある学校づくり」の推進に努めます。

また、引き続き、いじめ問題や不登校、問題行動などの対応について、子どもたちの安全確保も含めて、家庭・学校・地域そして行政が連携して取り組んでまいります。

平成22年度は、安全・安心な教育環境の実現に向け、継続して「校舎屋体耐震化事業」の推進に努めるとともに、就学児童生徒の減少していく中で良好な教育環境の確保と、学校規模の適正化を図るため「学校適正配置推進事業」に引き続き取り組んでまいります。また、今年度、新たに児童生徒の体力向上に向け、モデル校を選定し、日常生活の中で、運動する習慣を身に付けるための指導等について、実践的に研究していく「児童生徒体力向上事業」を実施いたします。

児童生徒の学力向上に向けた取り組みの一つとして、T・T（ティームティーチング指導）や少人数指導など、きめ細かな指導を行うため、教員退職者などをボランティアとして小中学校に派遣する「小中学校授業サポート事業」を市内全小中学校に拡大いたします。

さらに、特別支援教育では、生活介助員を増員してまいります。小中学校の読書環境の整備推進を図る「子どものための読書環境整備事業」や「図書室環境整備事業」に取り組むことなどを重点事業とし、関係部局や関係機関と連携を図りながら、取り組んでまいります。

また、市民ニーズに沿って、より効率的・効果的な施設運営を行うため、公民館や体育館などの社会教育、文化・スポーツ施設について指定管理者制度を導入しておりますが、指定管理者との連携を図る中で、引き続き市民サービスの向上と管理運営の効率化に努めてまいります。

郷土資料館では開館20年目を記念し、英国大英博物館並びに東京国立博物館に展示された「大麻3遺跡」出土の土偶の里帰り展を開催します。

主要な施策につきましては以下のとおりです。

1 子育て環境の充実

少子化や核家族化の急速な進展により、子育ての孤立や地域の子育て力の低下など、子どもを取り巻く環境が大きく変わってきています。また、母親の就

業率の高まりやライフスタイルの多様化などにより、子育て支援に対するニーズも変化してきていることから、地域社会において安心して子育てができる仕組みづくりが求められています。

このため、幼児教育を受ける機会の充実を図ることを目的として、幼稚園就園奨励費補助や市内私立幼稚園における特別支援教育などの取り組みに対して支援を行ってまいります。また、幼児及び小学校低学年児に対する教育上、保育上の問題点を共通課題として認識し、よりよい教育を実践するために「江別市幼児教育推進協議会」の活用を図り、引き続き幼小連携を進めてまいります。

- 幼稚園就園奨励費補助金の継続
- 市内私立幼稚園補助金の継続
- 「江別市幼児教育推進協議会」の継続

2 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

学校は、地域社会との関わりの中でそのあり方をとらえ直し、地域に開かれた「魅力と活力ある学校づくり」を進めることが大切です。

このため、家庭や地域の要望を踏まえた特色ある教育活動を実践するとともに、学校の具体的な教育計画や活動状況などを保護者や地域住民に対して、積極的に公開し説明していくことが必要です。

子どもたちの個性や能力に応じたきめ細かな教育を実践するとともに、体験的学習などを通して、学習意欲の向上を育んでいく取り組みが求められています。さらに、学習内容の基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学ぶ意欲や主体的に判断する能力などの「生きる力」を育むことが必要とされています。

こうしたことから、校長を中心とした全教職員のもとで、外部評価を含む「学校評価」、「学校一斉公開」などにより、開かれた学校づくりや地域と一体となった特色ある学校づくりを推進してまいります。

また、今年度から子どもたちの体力向上に向けた「児童生徒体力向上事業」を行うほか、子どもたち一人ひとりの「確かな学力」の定着を図るため、T・

T指導などを行う「小中学校授業サポート事業」の拡大や、モデル校区における小学校学習支援活動として、放課後等に教員経験者等地域の人材を活用する「えべつチャレンジ塾モデル事業」を実施します。

さらに、文化芸術等に秀でた社会人を講師とする「社会人による教育活動等支援事業」や平成23年度からの新学習指導要領の実施に向け、「小学生英会話学習活動支援事業」において小学校5年生、6年生の授業時数を確保するとともに、小学校教師の英語指導力向上のため、英語推進員や外国人ALTによる校内研修を実施してまいります。

特別支援教育については、「特別支援教育コーディネーター」を配置し、関係機関と連携を図りながら学習指導方法の助言などを進めるほか、各学校において委員会の設置やコーディネーターの指名、教員研修会等の実施などを進めてまいります。また、「特別支援学級生活介助員」を増員し、児童生徒への支援の充実を図るとともに、学生ボランティア等の活用を図ってまいります。

次に、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができるよう、学校図書を計画的に整備してまいりましたが、蔵書の質的・量的整備のスピードを一層早め、子どもたちが意欲的に学習する環境づくりを進めるとともに、学校図書館の活性化、機能強化の支援のため、情報図書館からの司書の派遣を継続してまいります。

また、科学技術の高度化や情報化の進展を踏まえ、小中学校における情報教育を推進するため、コンピューター教室に一人1台で配備済みのコンピューターの維持管理を継続して行います。

なお、学校選択制については、引き続き子どもの個性や希望に応じた学校選択の推進を図ってまいります。

次に、いわゆる「ニート」と呼ばれる若者層が増え深刻な社会問題となっておりますが、社会人として働くことの意義や職業観を醸成するため、市内の民間企業、幼稚園、福祉施設等の事業所において、原則連続5日間の職場体験学

習を行う「キャリア教育推進事業」を引き続き実施してまいります。

また、「学校適正配置推進事業」については、平成21年度から平成25年度までの「学校適正配置基本計画」に基づき、地域の皆様のご理解をいただきながら取り組んでまいります。このうち、平成23年4月に江北中学校の江別第三中学校への統合が予定されており、必要な準備を進めてまいります。

次に、学校施設は、野幌小学校の屋体屋根改修工事を実施するとともに、文京台小学校ほか計3校の屋外重油・灯油配管の更新、江陽中学校のグラウンド防球ネット改修工事、さらには、江別第二小学校ほか計5校の耐震改修実施設計、江別小学校ほか計3校の耐震診断を実施するなど、学習環境の整備を進めてまいります。

私立学校については、それぞれの建学の精神に基づき個性豊かな教育活動を積極的に展開し、学校教育全般の発展に大きく貢献していることから、私学の持つ特色ある教育が一層促進されるよう、引き続き支援してまいります。

次に、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう食育を推進するため、栄養教諭による食に関する指導を継続してまいります。

今後は、各小中学校に食育推進委員会を設置する中で、基本方針を策定し、食育を推進するための活動を実践してまいります。

- 「児童生徒体力向上事業」の実施
- 「小中学校授業サポート事業」の充実
- 「特別支援教育推進事業」の充実
- 「小学生英会話学習活動支援事業」の継続
- 「えべつチャレンジ塾モデル事業」の継続
- 「子どものための読書環境整備事業」の継続
- 「社会人による教育活動等支援事業」の継続
- 「キャリア教育推進事業」の継続
- 「特別支援学級生活介助事業」の充実
- 「学校選択制」の継続
- 「市内統一学力検査」の継続

- 「学校評価」及び「学校評議員制度」の継続
- 「学校一斉公開」の継続
- 「地域一体型・学校の顔づくり事業」の継続
- 学校図書の計画的整備充実
- 教育用コンピューターの計画的整備充実
- 学校適正配置推進事業の継続
- 野幌小学校の屋体屋根改修工事の実施
- 文京台小学校ほか計3校の屋外重油・灯油配管更新の実施
- 江陽中学校のグラウンド防球ネット改修工事の実施
- 江別小学校ほか計3校の耐震診断の実施、江別第二小学校ほか計5校の耐震改修実施設計の実施
- 市内私立高校助成の継続
- 食育推進の実施
- 学校給食施設整備の継続

3 生涯学習の充実

市民の学習ニーズは、社会の変化への対応や心の豊かさ、さらには生きがいを求めるとともに、自らが行う社会活動等に活かす新しい知識や技能を習得するため、多様化、個性化しております。

それらに的確に対応するためには、大学等の教育研究機関や学習の成果を活用できる人材など、文教都市江別の知的資源の有効活用を図るとともに、多様で効果的な学習機会の確保に努めるなど生涯学習活動環境の一層の充実に努め、市民の学習意欲の高揚とより主体的な学習活動への転換を図り、まちづくりの推進に反映していくことが大切です。

このため、市民が、個人、団体を問わず、様々な活動を通じて主体的に学ぶ楽しさや、感動、達成感が得られるよう支援するとともに、公民館等を活用した生涯学習講座や市民大学講座等を開催するなど各種生涯学習事業及び社会教育事業を継続してまいります。

また、地域ぐるみで子どもたちを育てる環境をつくるため、地域や世代間のふれあい交流、郷土の自然や生活体験等による学習活動など、学校と地域社会が協働して行う地域の独自の取り組みに対し積極的な支援に努めてまいります。

あわせて、地域で行う各種事業をサポートする指導者やボランティアの育成を図るとともに、活用される仕組みや体制づくりに努めます。

さらに、情報図書館では、市民の生涯学習活動を支援するため図書・雑誌・視聴覚資料等の整備充実に努め、利用者の利便性の向上を図るためインターネット予約の普及を推進するとともに、電算システムを更新し業務の円滑な推進に努めます。

また、「江別市子どもの読書活動推進計画」に基づき、大型絵本・紙芝居などを計画的に整備し、子どもたちの感性や情操を育むための本の読み聞かせ等のボランティア活動や乳幼児健診時における親と子の絵本事業等を支援するなど、子どもの読書環境の整備充実に努めてまいります。

- ふるさと江別塾「まちおこし市民大学講座」の開催
- 蒼樹大学・聚楽学園の運営及び生涯学習講座の開催
- 「学社融合事業」及び「体験活動ボランティア支援センター事業」の推進
- 「家庭教育事業」（青空子どもの広場）の開催
- 公民館施設改修整備の実施
- 「図書館資料整備事業」の継続
- 情報図書館業務用電算システムの更新
- 「江別市子どもの読書活動推進計画」の推進
- 情報図書館インターネット予約システムの普及促進

4 青少年健全育成の推進

現代社会は、青少年が心身の発達に伴い様々な悩みや葛藤を経験しながら、社会の担い手としての基盤を確立し、公共への参画を通して社会へ貢献するとともに能力や適性に応じて活躍の場を広げていくには、厳しい環境にあるといわれております。

そのため、青少年にとって基本的な生活の場である家庭・学校・地域社会と連携して青少年の主体性や社会性を育む事業（ボランティア・自然体験・社会体験）を推進するほか、これらの活動を行う団体等への支援を通じて生涯学習の視点に立った青少年の健全育成に努めます。

さらに、いじめ、不登校、問題行動の早期発見・早期対応に努め、青少年の悩みに対する相談業務の充実に努めるなど地域での教育力の向上支援に努めます。また、インターネット上のトラブルあるいは有害情報から子どもたちを守るため、ネットパトロールを行うとともに、子どもたちや保護者への啓発活動を行

います。

また、学校生活や家庭生活の悩みを抱える子どもたちや保護者が相談できる場の充実を図るため、全小中学校にスクールカウンセラー又は「心の相談員」を引き続き配置するとともに、関係機関と連携し、問題解決にあたってまいります。

- 子ども会や青少年のための市民会議への支援
- 「中学生国際交流事業」の継続
- 「小中学生国内交流研修事業」の継続
- 青少年キャンプやジュニアリーダー養成講座の継続
- 「子どもを見守る地域ふれあい事業」の継続
- 「児童生徒健全育成事業（電話相談事業）」の継続
- 「心のダイレクト・メール事業」の継続
- 「心の教室相談事業」の継続
- 「スクールカウンセラー事業」の継続
- 「問題行動対策事業」の継続
- 「児童生徒健全育成事業（いじめ・不登校対策事業）」の継続

5 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

文化は、心の醸成に大きな影響を及ぼすことから、地域やそこに住む人々に固有の価値観や共通のよりどころとなる特有の風土を創造します。また、自発的・自主的な文化活動は、市民一人ひとりの個性を伸ばし、その地域の特色づくりに重要な役割を果たすものであります。個々人が自立し、より一層創造性に富んだ活力のある地域社会を築いていくためには、「文化を大切にする」視点を様々な取り組みに活かしていく必要があります。

とりわけ、江別市の将来を担う子どもたちの豊かな心を育む環境を醸成することが重要であり、優れた芸術や伝統文化に触れる機会を拡充し、積極的に参加・体験できる場の充実を図ることが大切です。

このため、ふるさと江別の歴史や文化の特徴を再認識し、「市民と共に創造する文化活動」の誘導に努め、「市民文化祭開催支援事業」や「芸術鑑賞招へい事業」「市民芸術開催支援事業」の推進により、市民団体が主体的に行う舞台芸術や展示発表、次代を担う子どもたちを育む参加創造型の取り組みに対し支援するほか、文化活動を通じて地域社会と学校が一体となって青少年の健全育成を

図る「子ども文化活動育成事業」（土曜広場）を継続して実施します。

また、文化芸術活動の拠点である「市民文化ホール」の設備機器等の更新を行い、良好な施設環境づくりに努めます。

これらの活動を通して、ふるさと江別の歴史や文化を理解することは、郷土を愛し、誇りを持って心豊かな生活をするにつながります。

その一環として、郷土資料館及びセラミックアートセンターでは、市民のふるさと学習を支援するために、常設展示の充実を図り、子どもたちや親子を対象とした体験学習プログラムを提供するとともに、埋蔵文化財収蔵資料等や市民から提供いただいた生活文化財などを展示公開するためロビー展を開催します。

市指定文化財である郷土資料館収蔵の「大麻3遺跡」出土土偶が、英国博物館並びに東京国立博物館で開催された文化庁主催の国宝土偶展に出品されたことにより内外の評価が高まっています。出品土偶の里帰りに合わせ、郷土資料館開館20年目を記念して、縄文時代の造形美を伝える特別展を開催します。

- 「芸術鑑賞招へい事業」の継続
- まちかどコンサート公演、市民ミュージカル開催など「市民芸術祭開催支援事業」の継続
- 「子ども文化活動育成事業（土曜広場）」の継続
- 全国コンクール等への出場助成等文化活動の奨励の継続
- 市民文化ホール設備機器等の更新の実施
- 市無形文化財「野幌太々神楽」の保存・伝承活動への支援の継続
- 埋蔵文化財収蔵資料等（遺跡・遺物）の展示公開と情報の発信の継続
- 英国大英博物館・東京国立博物館展示の「大麻3遺跡」出土土偶里帰り展の開催（郷土資料館開館20年記念事業）
- 子ども学芸員カレッジ、再発見江別探訪及びふるさと歴史講座などの開催
- 子どもたちや親子の野幌粘土を使った土器など野焼き体験事業の開催
- 終戦65年企画「代用品の生み出された時」等の企画展の開催
- 陶芸文化普及と啓発のために展覧会や各種陶芸教室の開催
- 施設空間などを活用し、市民交流等のふれあい事業の支援の継続

6 市民スポーツ活動の充実

科学技術の高度化、情報化等の進展により、自由時間を活かして主体的にスポーツで汗を流すなど、精神的にも豊かなライフスタイルを構築しようとする

気運が年々高まっています。一方では、人間関係が希薄となり、精神的なストレスが増大したり、日常生活において体を動かす機会が減少し、体力や運動能力が低下したりするなどの心身両面にわたる健康上の問題が顕在化しています。中でも、次代を担う子どもたちの体力が低下傾向にあることは、将来の明るく豊かで活力ある社会の形成にとって大きな課題となっています。

このような社会環境の中で、スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものとするとともに、青少年、成人、高齢者を問わず健全な生活を促し、また、スポーツを通じて市民が交流を深めていくことで地域の連帯感を強めるなど、多様な意義が認められており、「生涯スポーツ社会」の実現に向けた取り組みが必要です。

第4期江別市スポーツ振興計画（平成17年度～平成26年度）では、「スポーツ活動を推進する組織、機関等の連携」、「生涯各期におけるスポーツ機会の提供・充実」、「いつまでもスポーツ活動を実践するための広報・啓発や場の提供」、「どこでもスポーツのできる施設環境、施設機能の充実と整備を推進し施設間の有効な活用」の4つの大きな重点目標を掲げており、これらの推進計画の目標達成に向けて、市内大学やスポーツ団体とも連携しながらスポーツ振興と体力の向上を図るとともに、市民にスポーツ活動の場や機会を提供し、いつでも、どこでも、だれでも、いつまでもスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう努めてまいります。

- スポーツ指導者の養成と指導体制の充実
- 団体活動の促進及び地域スポーツの活性化
- 「総合型地域スポーツクラブ」の自立支援
- 競技力の向上とスポーツ選手の育成強化
- 「学校体育施設開放事業」の継続
- 生涯スポーツの推進と機会の充実
- 市民体育館や体育施設の改修整備

おわりに

社会の急激な変化や国際競争の激化に伴う地域社会への影響など社会変化の動向を踏まえるとき、人づくりこそが地域社会の発展の礎であります。

こうした人づくりに向けて、「豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実」を実現するため、各種施策に全力で取り組んでまいります。

市民の皆様並びに議員各位の一層のご理解とご協力を、心からお願い申し上げます、新年度の教育行政推進計画とさせていただきます。